

地域に内在し世界を構想する

JCAS Review

地域研究 Vol. 8 No. 1

特集1 リージョナリズムの現在 —— 国民国家の内と外で

[座談会] 家田修/白杵陽/遠藤貢/川島真/村上勇介/山影進

山本博之/伊藤武/若林広/小森宏美/西芳実/岡本正明

特集2 「正しい左派」と「誤った左派」の あいだで揺れるラテンアメリカ ——2005~06年の選挙過程の事例分析

高橋百合子/浦部浩之/村上勇介

●地域研究コンソーシアム / JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

特集1 リージョナリズムの現在

—— 国民国家の内と外で

「座談会」 国民国家とリージョナリズム

—— 地域統合を比較する

—— 家田修、白杵陽、遠藤貢、押川文字、川島真、村上勇介、山影進、(司会) 山本博之

005

「特集にあたって」 「地域の文化」を求める人々

山本博之

043

「地域性」と地域 —— イタリアにおける地域開発と公的金融からの接近

山本博之

052

「領域性」と地域 —— イタリアにおける地域開発と公的金融からの接近

伊藤武

070

ベルギーの連邦化の危機 —— ヨーロッパ化と多極共存型民主主義の観点から

若林広

083

地域アイデンティティの形成 —— エストニアの場合にみる功罪

小森宏美

100

二〇〇六年アチエ統治法の意義と展望 —— マレーシアにおけるリージョナリズム

西芳実

116

細分化する地域主義とその後のポリティクス

岡本正明

128

—— 民主化・分権化後のインドネシアから

特集2 「正しい左派」と「誤った左派」のあいだで揺れるラテンアメリカ

—— 二〇〇五～〇六年の選挙過程の事例分析

「特集にあたって」

ポスト・ワシントンコンセンサス期を迎えた

村上勇介

146

ラテンアメリカの新たな模索

二〇〇六年メキシコ連邦選挙の分析

高橋百合子

158

—— 民主主義の揺らぎと選挙結果をめぐる対立の構図

二〇〇五／〇六年チリ大統領・議会選挙

浦部浩之

176

—— 選挙制度がもたらした政治構図とコンセルタシオン政権持続の意味

ペルーの二〇〇六年選挙の分析

村上勇介

199